

| | | |
|---|---------------------------------|--|
|  | <p>放送大学茨城同窓会会報</p> <h1>ときわ</h1> | <p>発行所 放送大学茨城同窓会(茨城学習センター内) 〒310-0056 水戸市文京 2-1-1(茨城大学内) 発行人 会長 葛貫 壮四郎</p> |
| <p>2008. 12. 21 現在の茨城同窓会 会員数78名 茨城同窓会 Web サイト http://uair-dosokairengo.net/ibaraki/</p> | | |

平成 20 年度前期卒業及び

入学祝賀パーティ開催

茨城同窓会副会長 矢野正義

平成 20 年度 1 学期卒業及び 2 学期入学祝賀パーティが、去る 10 月 4 日(土)放送大学茨城学習センターで開催されました。

本パーティは、われわれ放送大学茨城同窓会が主催し、卒業・入学のお祝い、卒業生には同窓会の存在と活動内容を知っていただき新に入会していただくこと、入学生には放送大学での学生生活や学習方法などに対する先輩・経験者としての紹介や説明、また疑問・不安に思ってるへの Q&A などを行い、より充実した学生生活への支援を行うことを目的としています。

当日は朝野茨城学習センター長をはじめ約 50 人の参加者により、和気藹々、和やかな雰囲気の中で、卒業生による苦労した事や、しかしその結果得られた達成感の披露、また入学生の方々には入学の動機、放送大学で学びたいことなどを話していただきました。

さらにもともと個人レース的な学習の継続になりがちなことを防ぎ、大学や先生との絆、友人づくりに有益なサークル活動の内容紹介と入会勧誘が行われました。

現在、茨城学習センターにはパソコンクラブ、英会話サークル、ふるさと探勝会、ゴルフサークル、数学共楽会の五つのサークルが活動中で、それぞれ熱いスピーチでアピールしていただきました。

参加されたの方々には学校や同窓生、在学生への絆を感じ、今後の学生生活への意欲を増し、同窓会への理解と共感を感じていただけた催しになっていたことを期待しつつ、盛会裡に終了しました。



(祝賀パーティ)



(入学生相談会)

8 年で卒業証書を手に入れた！

20.9 自然の理解卒業 内山達



放送大学茨城同窓会のみなさま、初めまして、内山達と申します。自然の理解をこの9月によりやく卒業いたしました。卒業するのに、実に8年半もかかってしまいました。

専門学校卒なので、編入してればもっと短くてすんだと思いますが、どうせやるなら、1から勉強したいと思ってしまったんですね。

この8年半の間には、病気になって勉強が出来なくなったり、失業をしたりして生活上の変化はありましたが、それでも放送大学をやめるという選択肢は選びませんでした。それでこうして何とか卒業出来たことを本当にうれしく思っております。

ここで、これまでの8年半を振り返りながら、卒業までの軌跡を辿ってみたいと思います。

放送大学に入学した動機は、やはり、大卒の資格を取りたいと思ったことでした。高校時代、山岳部に入っていました。部活動にほぼ全力を注いでいた結果、勉強の方がおろそかになり、大学受験には失敗。その後、2浪しても、受験には全敗してしまいました。

専門学校を経て社会人になったあとも大卒の同期との給料格差で悔しい思いをしたりして、やはり大学を卒業したいとの気持ちが募っていきました。

慶応大学の通信教育部に入学したこともありましたが、仕事の方が忙しく、スクーリングにも行けない状態が続き、しばらくしてやめてしまいました。それでも、やはり大卒になりたいとの思いは消えがたく、ようやく30半ばにして放送大学の門をくぐったのでした。今度は途中で挫折しまいとの強い思いを胸に秘めて。

まずは勉強を習慣づけるということが一番重要だったと思います。

資格勉強などである程度の勉強習慣は出来ていましたが、放送大学では複数の科目を平行して進め、それも半期ごとに別の科目を勉強する物ですから少々勝手が違いました。

それと、なにより大変だったのはモチベーションを如何に維持するかでした。

放送大学は最短でも4年、平均して6年から10年は勉強するわけです。しかも、基本的に一人で勉強するわけですから、この長丁場を一人で、如何に乗り切るか。放送大学の卒業率が低いのは、やはり、途中でモチベーションを維持することに上手く行かなかった人が多いのではないかと想像できます。

私の場合、まずは出来るだけ周囲に公言することでした。そうして何年も勉強を続けていくと、自分を応援してくれる人が多くなってきて、それがまた大変、励みにもなりましたし、引くに引けないという気持ちにもなりました。

ところで、何らかの事情で大学に行けなかった人が、放送大学を卒業するというのは、人生の中でも一つの大きなステップになると思います。

まして、放送大学の学生は学業に専念できる一般の大学生と違って、仕事や家庭があったりして、ただでさえ、困難がつきものです。その中で卒業出来たことは非常に価値あることだと思っています。

これまで私を支えてくださった人たちに感謝を申し上げたいと思います。また、今後は放送大学卒業生として、社会的に放送大学卒が認知されるよう頑張っていきたいと思っています。これから、どうぞよろしくお願いいたします。

放送大学本部見学会実施

8月21日(木)、茨城学習センター、ふるさと探勝会、茨城同窓会合同で、「放送大学学園本部の見学会」を実施しました(33名参加)。学園本部に元在籍しておりました杉本様(水戸市)の情報で日程設定や見学ポイントを選定していただきました。

茨城大学生協前を7:50に出発し、途中土浦駅東口で数名の参加者を拾って、一路、幕張までバスを移動しました。車内では朝野所長から、江戸川区付近で、江戸庶民の重要な冬の野菜である“こまつな”の由来などの説明を受けながら、幕張駅に予定通りに到着し、昼食を自由に取った。学園本部の見学は、13時ごろからスタートした。

最初に、「大学の窓」のスタジオ収録の様子を担当者から説明を受けた。丁度、来週放映の収録状況を見学できたのは幸いでした。スタジオでは、私たち見学者も録画いただき、8月26日(火)~9月1日(月)の[大学の窓]で放映された。

最後に、学園本部前で集合写真を取り、無事、茨城学習センターに到着した。





(大学の窓のスタジオにて)



(放送大学学園本部前にて)

会長 葛貫 壮四郎記

第2回訪中「2大石窟」巡りに参加して

福岡同窓会 床島敏彦

茨城同窓会の皆さん今回も葛貫会長さん、前島さんのお勧めにより参加させて頂き、大満足の旅路でありました事を感謝いたします

さて、私事ですが私は生活のリズムを大切にしています。毎朝6時半からのみんなの体操・第1・第2体操をすることでのリズムの維持です。外泊でもやっています。

会社定年後に12年ほど電気関係の仕事をして、これを退いた現在までずっと50年間毎日の生活のリズムとして守ってきています。その次は歯を磨くことです。

3・3・3の励行と言いまして毎食後3分以内に3分間歯磨きを励行しなさいというものです。そう教わってきましたが実行は難しく、70過ぎて歯が三本折れ、磨き過ぎて歯を削ぐことになったりしていますが何とか実行しています。

3番目は朝風呂に入る事です。朝一番の入浴は習慣づけしてみると案外良いものです。電気温水器があるので手軽に給湯でき。夜

にはこの残り湯に注ぎ足して2回入浴しています。洗濯機のフロ水の使用もあること、毎朝体重の測定が出来て健康維持にもって来いと実感しています。

放送大学は1991生ですから通算18年になります。三回卒業いたしました。私は4年毎に3回卒業研究を終了いたしました。三回も取り組む人は少ないと思います。テーマは太陽光の自然エネルギーです。太陽光発電システムと太陽光の熱の利用と太陽光発電システムの熱の伝達特性に関する実証研究でした。これからの目標は15宇宙・地球科学プランコースの認証取得です。

今回の旅行についての感想を記します。

1) 中国のガイドさん「郝」氏について

熊本市の外国留学地域交流センターで2年間通訳他されたそうでこの二年間の日本滞在(大学卒)だけ有って日本語がうまく、日本の歴史に精通してあることにビックリしました。会場整理員の制止を無視して熱心に説明されたのが好印象でした。それに毎食時に食材の内容にも気を配り、我々が食べ終わるまで気遣いされたことにプロとしての気概を感じました。

2) 日本の添乗員の「竹内」氏について

今回も手作りの混ぜご飯と味噌汁を作られたことと、我々の散策中はいつも最後まで遅れはしないか、ハグレないかとの気遣いは有り難い事でした。

3) 博物館の見学他について

今回、『三門峡虢国王車馬坑博物館』『洛陽博物館』が見られたことは特筆すべきものです。また、広勝寺の上寺と下寺の観光が素晴らしいものでした。コースに外れているとかで外国のお客さんが少ないというところがラッキーでした。



(虢国王車馬坑博物館:首飾り)

中国料理は立派だし美味でした。本当に幸せな6日間の旅だったと感謝いたします。

第2回茨城同窓会訪中旅行に参加して

茨城学習センター所属 葛貫 千栄子
大同から鄭州を専用バスで全長約1700kmの旅をした。黄土高原の長距離をバスに揺られて車窓から万里の長城・とうもろこし畑・土と煉瓦の家・木のない山々が続いたり・臨汾は、豊富な石炭が埋蔵されて炭鉱開発が進められているとのことで100両ほど連結した石炭列車がゆっくり走るのを遠望しました。運転手さんは、クラクションを鳴らしながら上手に車間をすり抜けながら走っていましたがハラハラしどうでした。

昨年の敦煌の莫高窟、今回の大同の雲崗石窟と洛陽の龍門石窟は、中国三大石窟に数えられ仏像が石窟の中に作られていて精緻に彫刻された石刻芸術作品です。

世界遺産の雲崗石窟は、北魏代に開削され、494年に都が洛陽に遷都される頃には大部分が完成していましたがその後も造営が続きました。仏像、菩薩、羅漢、飛天など石像の雄大さと内容の豊富さをじっくり見学できました。

途中、渾源県にて高い絶壁に張り付くように建てられた懸空寺は北魏代末期に造られました。仏教寺院は壮観でした。

世界遺産の龍門石窟の造営は北魏国の孝文帝太和十八年に開始され400年間にわたって続けられたもので自然の風景に接し、感激いたしました。惜しいのはほとんどの仏像が破壊されている事です。川を挟んで向こう側から全体を見渡すと蜂の巣のようにも見え素晴らしかった。



(世界遺産の龍門石窟)

山門峡にて黄河を渡ると河南省に入り虢国王車馬坑博物館を見学、周代の諸侯虢国の国王及び貴族の墓で中国最古の車馬坑や人骨がそのまま展示してありました。車馬坑の上に虢国車馬坑文物陳列館が建てられています。

山西省から河南省の6日間の旅は、中国の世界遺産やたくさんの絶景を堪能しながら歴史を尋ねました。ガイドさんも本当にすばらしくて日本語が上手で何を質問しても答えてくださり心配りもよく楽しい旅行が出来満足いたしました。

平成21年度第1学期学生募集

放送大学に興味をお持ちの友人・知人の方をご紹介下さい。また、同窓生の皆様も、再度、入学して学んでみませんか。

出願期間：平成20年12月15日から
平成21年2月28日必着
連絡先：茨城学習センターまで
〒310-0056 水戸市文京 2-1-1
TEL:029-228-0683
FAX:029-228-0685

放送大学創立25周年記念募金の件

募金の趣旨については、「放送大学学園から募金のお願い」を参照お願い申し上げます。同窓会連合会においても、本募金に協力することになりました。是非、茨城同窓会の会員の皆様からも募金へのご協力を承りたいと存じます。

○募資金額

- ・一般個人(卒業生):1口1万円以上
- ・学生 :1口5,000円以上

○申し込み方法

同封の払い込み用紙(郵便局)使用

編集後記

今回、新しく入会された内山様から、貴重な卒業体験寄稿をいただきました。また、第2回の中国旅行記をいただきました。

会員の皆様からの原稿を募集します。どんな内容でもOKです。

(猪膝、矢野、前島、葛貫)